

Elm歌曲研究会会報 No.40

2009年6月7日発行 発行者 Elm歌曲研究会 会報係



●「西 美友貴 ソプラノリサイタル」を開催しました

去る2009年5月16日(土)高崎シティギャラリー コアホールにて、Elm歌曲研究会リサイタルシリーズVol.8「西美友貴ソプラノリサイタル」を開催致しました。

プログラムは、伊藤先生から教えていただいたドイツ歌曲、小池先生から教えていただいたフランス歌曲、そして、全ての方へ感謝の気持ちを届けたいという思いから日本歌曲を選曲しました。前半では、ブラームスの歌曲を5曲と日本歌曲を5曲、そして後半では、フランス歌曲を5曲とR. シュトラウスの歌曲を4曲、アンコールにオペラアリアとサティのシャンソンを各1曲歌いました。

念願のリサイタルをさせていただける事になり、喜びに満ちた1年前、何度も何度も組み直したプログラム、現状の自分を受け入れられずに悩んだ本番数週間前、未熟な私を最後の最後まで力強く後押しして下さった小池先生、伊藤先生、伴奏の小松先生、そして、色々な方面から親身になって助けて下さった、たくさんの方々。今ここで、色々な事を思い出してみると、本当に多くの事があり、それと同時に、たくさんの方々との繋がりの中で、私自身が歌わせていただけたんだなあ感謝の気持ちでいっぱいです。多くの方々に支えられ、助けられ、無事リサイタルが開催できました事を、この場をおかりして厚く御礼申し上げます。

リサイタルが終わり、数週間経った今、今の私に出来る事はどんな事だろうと考えております。演奏家として技術を向上させる事はもちろん、音楽を通して、人と人が良い関係で結ばれ、幸せを感じられる、そんな活動の少しでもお役に立てるように、これからも1歩ずつ精進していきたいと思っております。

本当にどうもありがとうございました。

(西 美友貴)

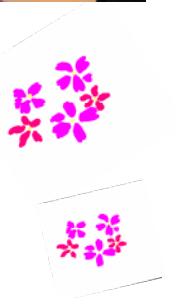
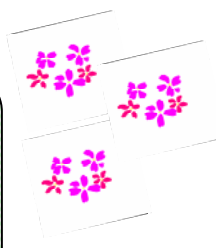


少し以前迄、オペラは私達一般人には、遠い存在の音楽であった。しかし今は、テレビやレコードを通して身近な音楽に変わりつつある。オーチャードホールやオペラハウスだけでなく、地域の小ホールでも聞く事が出来る。私自身、時々、コンサートやディナーショーに出かける。鍛え抜かれた歌声に感動を覚える。

今日はその主役は私の姪の“ミーチャン”である。いつもは身近に感じる甘えん坊と気の強さを持ち合わせた彼女だが、今日はどんな顔を見せてくれるか楽しみにしていた。

オープニングと同時に“ミーチャン”が出てきた。いつもと違う華やかなオシャレなドレス。最初の発声の時、“あがらないかな？大丈夫かな？”少々の心配をしながら見ていた。前段の難しい曲から徐々に聴く人達をまきこんでいく。アンコールの“蝶々夫人”では最高潮。ミーチャンの歌は不思議に聞く人達の心に素直に入っていく。歌詞の意味は理解出来なくても、その思いが伝わってくる。帰りの車中、ミーチャンの話で持ちきりであったが、私達も久々に高崎のロマンチックな灯の中で、妻とデート出来た事にも感謝している。“ミーチャン有難う”

(お客様 館野 英一 様)



この度ご縁があり、西美友貴さんの記念すべき初のソロ・リサイタルに立ち会うことができました。クラシックはおろか、音楽については全く詳しくない私ですが、西さんの透き通るような美しい声は、私のもつ貧弱な感性をも研ぎ澄ますような、すばらしい演奏でした。特に、日本歌曲においては、やはり日本人であるがゆえにどうか、「和」の持つ独特なせつなさや美しさが、西さんの優しい声と同時に心にスッと入ってきて、思わずジンッと目頭が熱くなりました。

また、最後のアンコールの曲では意外性をついた、思わず身体を一緒に動かしてみたいくなるような(いや、動かしていた・・・)とても楽しい曲でした。

観ている者の心を単純に動かす・・・音楽のもつその醍醐味を改めて感じさせられる素敵な舞台でした。歌手さんとしての新たな1ページ、ファンの一員として今後のますますのご活躍をお祈りしております。がんばってください。(お客様 テストーレ・江里奈 様)



●咲いてみましたホラホラコンサート「プチコンセールVol.15」を開催しました

春真っ盛りの4月26日(日)、榛名文化会館エコー小ホールで毎年恒例となっています「咲いてみました！ホラホラコンサートVol.15」を開催しました。イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲、ミサ曲、オペラアリアなど、23曲を各出演者達が独唱、重唱、合唱、ピアノ演奏と披露しました。出演者は皆、ホールの舞台上に上がって演奏できる貴重な機会となるこの発表会で、緊張しながらも一生懸命に、日頃の練習の成果を発揮すべく、演奏しました。

今回の経験や課題を今後活かせるように出演者一同、日々練習に励んでいきたいと思ひます。

(プチコンセール係 石川裕之)



今年のプチコンセールは、合唱に加え、初めてソロでも参加することになりました。カッチーニの「アヴェ・マリア」を歌うと決まり、暗譜で歌えるようになってからは、朝から晩まで、気が付けば繰り返し歌っていました。そして本番になった時には、自分の中では、ほぼ出来上がっていた筈が、やはり初体験のステージでは、思いとは裏腹の出来になってしまい、恥ずかしくて消えてしまいたい位でした。

それでも、レッスンの時に先生より「誰も初ソロ舞台であれもこれもきちんとできることは難しいので、最後まで止まらずに歌い通せれば上出来。」と言われ、何とか唯一この事だけはクリア出来たようです。今回、しっかり勉強させていただいた「アヴェ・マリア」は、私の忘れることのない大切な一曲になりました。

一方、合唱のレオポルド・モーツァルトの「ミサ・プレヴィス(全5曲)」は、2曲目の「グローリア」が長い上、難しいので、少し心配な部分も有った筈でしたが、皆さんと一緒に歌える安心感で、思いの外、全曲気持ちよく、しっかり歌いきれて、とても満足でした。

先生方を始め、皆様、大変お世話になりました。この貴重な経験を生かして、これからも頑張りたいと思ひます。

(独唱&ラルゴ・カンタービレ出演 杉山 弥生)



● 第14回定期演奏会「ヴィヴァルディ アルト室内楽の夕べ」を開催します

来る7月5日(日)、高崎市文化会館大ホールにて第14回定期演奏会「ヴィヴァルディ アルト室内楽の夕べ」を開催致します。今回も、群馬交響楽団所属の弦楽器奏者の棚田敦子さん、小松英都さん、池田美代子さん、ファニー・プザルグさんと、ピアニストの小松久美さんを迎えての、オール教会音楽の演奏会となります。ヴィヴァルディのアルト・ソロの室内楽を中心に、モーツァルト、マスカーニ、オルバーンといった作曲家の作品を、伊藤眞由美、小池静香の独唱、Elmエキスパート・アンサンブルによる声楽アンサンブル、Elm女声合唱団の女声合唱の形態で演奏します。

アルト・ソロによる室内楽は、作品自体も少ない上、演奏される機会も希少です。会員特典と致しまして、招待券並びにチラシを同封いたしましたので、皆様どうぞお問い合わせの上、是非、お出かけ下さいませ！
(副会長 小池 静香)



記

日時: 2009年7月5日(日) 午後6時開演(午後5時30分開場)

場所: 高崎市文化会館 大ホール

入場料: 全席自由 2500円

出演: 伊藤眞由美(アルト) 小池静香(メゾソプラノ)
西 美友貴(ソプラノ) 石川理映子(ソプラノ)
芹澤 泉(ソプラノ) 舛田純子(メゾソプラノ)
Elm女声合唱団

棚田敦子(Vn.) 小松英都(Vn.) 池田美代子(Vla)
ファニー・プザルグ(Vc.) 小松久美(ピアノ・Key.)

● 今後の予定

2009年

7月 5日(日) 第14回定期演奏会「ヴィヴァルディ アルト室内楽の夕べ」
高崎市文化会館大ホール

9月 6日(日) 勉強会 Elm歌曲研究会本部

12月 暮鳥文明まつり Elmイチゴ組 子供の歌発表
(高崎市文化協会群馬支部主催) 群馬県立土屋文明文学記念館

各催しに参加、出演、来聴ご希望の方は、本部までお問い合わせください。

● 参加したい人「この指とお～まれっ！」

「聴いてみようかな」「やってみようかな」「見学したいな」と思われた方は、本部までご一報下さい。連絡先は下記の通りです。その他、すべてのお問い合わせも、下記にお願いします。



Elm歌曲研究会

郵便
電話、ファックス
電子メール
ホームページ
会費振込先

370-0868 群馬県高崎市鼻高町31-2
027-322-8237
hi@elmutaou.com
http://elmutaou.com/
郵便振替 00580-6-33594